

2019年4月3日

『いきがい・絆・健康・くつろぎ』情報

リソル生命の森「お茶の間ゼミ」4月の日程

「古代エジプトの神秘を追いかけて PartⅢ」

リソルグループ（本社・東京都新宿区）が運営する多世代交流型リゾートコミュニティ「リソル生命の森」（千葉県長柄町）では、“いきがい・絆・健康・くつろぎ”をテーマとした各種講座「お茶の間ゼミ&スクール」等を連続開催しております。

2019年4月開催予定は下記のとおりです。

＜お茶の間ゼミ&スクール＞2019年4月の講座予定＞

■「古代エジプトの神秘を追いかけて PartⅢ」今年のエジプト！大博物館建設現場は？

エジプトのギザでは現在、2020年のオープンに向けてエジプト大博物館を建設中です。ここにはツタンカーメンの黄金マスクなど5万点に及ぶ工芸品のほか、古代エジプト美術博物館に所蔵されている展示品を保管する予定となっており、1,108億円を超える建設資金の大半は日本からもたらされています。今回はこの大博物館と、吉村作治先生の「太陽の船」の現場についてのお話も予定されています。

- ・開催日時：2019年4月28日（日）13:30～15:00
- ・開催場所：リソル生命の森 フォレストアカデミー
- ・受講料：無料（定員30名）
- ・講師：村治 笙子氏

（古代エジプト壁画・ヒエログリフ＜聖刻文字＞研究家）

■上記の「お茶の間ゼミ」のほか、各種スクール（参加費・要）も毎月開催
「生命の森蕎麦打ち倶楽部」「大人のための朗読」「生命の森混声合唱団」

【お問い合わせ リソル生命の森：0475-35-3333（受付9:00～17:00）】

＜本リリースに関するお問い合わせ先＞

リソルホールディングス株式会社（RESOLグループ） 広報担当／高橋・永田

TEL：03（3342）0331（直通） E-mail：press@resol.jp URL：<https://www.resol.jp>





お茶の間ゼミ

古代エジプトの神秘を追いかけて PartIII

～今年のエジプト！大博物館建設現場は？～



現在エジプトのギザでは、2020年のオープンに向けてエジプト大博物館を建設中です。ツタンカーメンの黄金マスクなど5万点に及ぶ工芸品のほか、古代エジプト美術博物館に所蔵されている展示品を保管する予定となっており、1,108億円を超える建設資金の大半は日本からもたらされています。今回はこの大博物館と、吉村作治先生の「太陽の船」の現場についてもお話いたします。

開催日 4月28日(日) 13:30～15:00

受付 開講時間の30分前から

会場 リソル生命の森 フォレストアカデミー
※駐車場に限りがございます。ご来場の際は相乗り又は日本メディカルトレーニングセンターの駐車場をご利用ください。



受講料 リソル生命の森各種会員様 **無料**
★今回は一般の方も特別に無料です

定員 30名 ※定員になり次第締切とさせていただきます。早めにお申込みください。



お申込 下記へお電話にてお申込みください。

古代エジプト壁画・ヒエログリフ(聖刻文字) 研究者 **村治 竹子**(むらじしよこ)



古代エジプト壁画研究者 東京生まれ東洋大学文学部西洋史学科卒。
ヒエログリフ研究会(現・古代エジプト研究会)でヒエログリフを学んだのち写真家の故仁田三夫氏とともに古代エジプトの壁画の紹介につとめてきた。国立博物館などの古代エジプト関係の企画展の監修、講演、図録の執筆など行う。古代オリエント博物館自由学校や朝日カルチャーで「壁画を読み解く」「ヒエログリフ解説」「世界の博物館で観られるエジプトの秘宝」講座を開く。
著書に岩波新書『古代エジプト人の世界』、共著に山川出版社『ナイルの遺産』『ナイルに生きる人びと』、日本オリエント学会編『オリエント事典』岩波書店、『世界歴史事典』朝倉書店、新装版『図説エジプトの「死者の書」』河出書房新社、『講談社の動く図鑑 MOVE 古代文明のふしぎ』監修(2017年6月)など多数。
日本オリエント学会、西アジア考古学会、日本歴史学会、世界遺産アカデミー、日本旅行作家協会、祭祀学研究会正会員として国内、世界を旅し、調査する。
現在、杉並ユネスコ協会理事、ジャパンハーブソサエティ顧問。



あなたのオフをもっとスマイルに。 〒297-0201 千葉県長生郡長柄町上野 521-4
リソル生命の森 TEL.0475(35)3333
RESOL SEIMEI NO MORI 受付時間 9:00～17:00

リソル生命の森 後援
www.seimei-no-mori.com